

# 留萌市第4次総合計画の素案まとまる

## ひと・まち・ゆめ・翔(しょう)アップ

### 交流拠点都市ー留萌

これまでの「第3期留萌市総合計画」(昭和63年〜平成9年)は「海と大地に未来を創造する都市」「ロマン萌ゆるマリンスポーツ留萌」をめざし、まちづくりのとりくみを進めました。

(社会経済情勢の変化と価値観の多様化・高度化)

近年社会経済情勢は大きく変化してきました。私たちの生活、産業、経済活動など、あらゆる面で大きな転換の時期を迎えています。

新しい計画は、このような変化の時代をふまえながら、市民参加を重視し、市民会議や市民アンケートなどで多くの市民の皆さんにご提言・ご意見をいただき手づくりで作成しています。

(国・北海道とのかかわり)

また、留萌市の政策と国や北海道の施策との整合性を図りながら、留萌市の特徴や可能性を考え、広域的な視野をもった施策を展開し



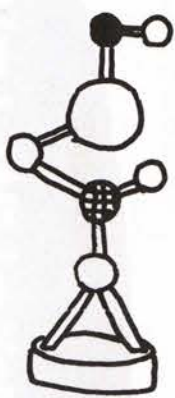
## 二十一世紀はじめの留萌市の発展イメージを考えるとこうなる!

■国際的に開かれた物流都市

留萌港に、フェリーが就航し、深川・留萌間の高規格幹線道路が開通すると道北地域と本州を結ぶ交流の拠点となります。

さらに留萌港の整備によって対岸ロシア・中国とは本格的な国際交流の糸口が開かれます。

また、市内は港町にふさわしい街並み景観が整備され、市街地にもぎわいをみせ、道内はもとより、国内外から多くの人々が集う国際都市へのステップを歩みはじめます。



■心豊かな潤いのある都市

快適な生活環境が進み、特に市街地は潤いのある魅力的な都市空間が作りだされ、私たちの生活は安全で安らぎのあるものとなります。

ていきます。

今、国や道においても、平成10年からスタートする新しい総合計画づくりをすすめています。

新しい総合計画のあらまし  
名称予定

「留萌市第4次総合計画」  
実施期間

平成9年度から平成18年度(西暦2006年度まで)の10年間を予定しています。

新しい総合計画の特徴

新しい総合計画は、留萌市の今の状態をもとに、都市としての望ましい姿を描き、それを実現するための方法や方向を明らかにするものです。

豊かな自然環境は市民との共生から、自然と調和したリゾート、レクリエーションの整備が進み、多くの人が訪れ、心ふれあう交流がみられるようになります。

広域的な都市の役割が強まり、市内外の交通の利便性が向上し、より生活しやすく活気に満ちた都市となります。



■時代を先取りした知識を集積する都市

多くの産業であらたな挑戦が始まり、国際化の視点を取り入れ、先端技術を活かした農業・水産加工業・工業をめざしています。

特に、水産加工業は本市の土台となる産業として、他の産業と連携しながら発展します。

■人々がふれあう文化的な都市

本市の歴史文化は、21世紀を生きた子どもたちに受け継がれ、さらなる郷土愛が深まります。自然を愛し、国際社会のひとりとしての意義と理解を通じ、地域と学校が一体となって学校教育は進められます。ボランティアやノーマライゼー



5つのポイント

- ・市民参加を重視した計画
- ・地域内外に都市づくりの意志を主張する計画
- ・地域個性
- ・特性を重視した計画
- ・ソフト分野を重視した計画
- ・広域的な観点を重視した計画

6つの目標として

- 個性を拡大する「物流都市」をめざします。
- 安全を充実する「快適都市」をめざします。
- 知恵を発揮する「創造都市」をめざします。
- 幸福を共有する「健康都市」をめざします。
- 心身を醸成する「学習都市」をめざします。
- 市民が前進する「飛翔都市」をめざします。

※新しい総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3段階の構成となっています。

シヨンの考えがしつかり根をおろし、お年寄りや体などの不自由な人々に対する地域ぐるみのサービスが盛んに行われるようになります。

私たちの学習活動が根つき、スポーツや健康づくり活動も活発になり、程度の高い医療が充実され、安心して生活が送られるようになります。

■実現に向けて飛翔する都市

私たちは希望に満ちた雰囲気の中で、私たちが共有する夢の実現に向け、みんなが力を合わせ、飛翔いたします。

21世紀初めには、交通システムが整い、世界に向けての留萌の情報が発信されるようになります。これらのことをめざすため、前記の6つの目標をきめていきます。

計画スケジュール

これからの予定は産業別、世代別などで選出された25名の委員で構成される「留萌市総合計画審議会」、市議会で詳しく検討、審査していきます。新しい計画のスタート予定は平成9年4月です!

総合計画を「家庭の献立」にたとえると……

基本構想

「今週は栄養のバランスや味覚、家計を考えたらどんなメニューにしようか」

「最近はやその家と比較して塩分の取り過ぎやカルシウムの不足が目立つなあ」

― 問題点などの検討もする ―

基本計画

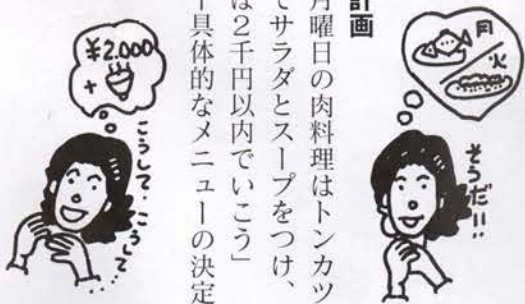
「月曜日は肉料理、火曜日は野菜料理、水曜日は魚料理にしよう」

― 具体的なメニューの検討 ―

実施計画

「月曜日の肉料理はトンカツにしてサラダとスープをつけ、予算は2千円以内でいこう」

― 具体的なメニューの決定 ―



新しい総合計画のポイント  
たとえば、

★高規格幹線道路深川ー留萌自動車道

深川・留萌自動車道は、深川市を起点とし、雨竜郡沼田町を經由して留萌にいたる延長50kmの高規格幹線道路です。平成4年度から深川・沼田間の工事が進められ、今後は、幌糠・留萌間の平成9年度の工事着手と全線早期完成が望まれます。格段に早くなります。

交通アクセスは

★留萌海岸コースタル・コミュニティゾーン整備計画(CCN)

留萌海岸を観光・レクリエーション拠点の場にするための整備が進んでいます。現在道路改良・舗装、橋梁工事が行われています。

★重要港湾留萌港整備事業

重要港湾留萌港は、留萌・羽幌炭田の石炭、天塩木材の積出し港としての役割を果たしてきました。交通アクセス、長距離フェリーの誘致、ウォーターフロント、海洋性レクリエーションなど留萌市の特性を活かしたあらたな港と都市づくりの展開が進みます。

問い合わせ

留萌市企画振興部

企画課新長期計画担当

☎42・1801内線397